

## 学習プログラム開発について

**ねらい：学習プログラム開発の基礎知識と作成する際のポイントを理解する。**

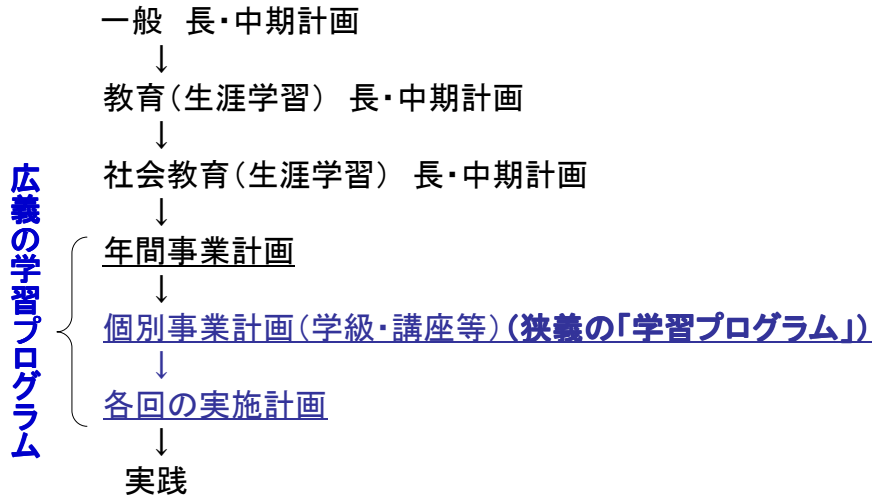
## 学習プログラム(個別事業計画)とは

**集合的な学習機会(学級・講座、行事、集会等)において、**

**人々の学習を具体的な活動レベルで、どんな目標のもとに、どういう活動を、どんな順序で行い、どんな学習成果を生み出す(学習者の態度変容をもたらす)か、**

**という一連のプロセスに関連する学習活動計画をまとめたもの。**

## 社会教育にかかる計画の構造と 学習プログラムの位置



### 3つの段階の計画

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

- 町民憲章
- 社会教育目標
- 社会教育行政目標
- 計画

事業名	趣旨	対象	会期	備考
〇〇〇	〇〇〇	成人	〇〇〇	
〇〇〇	〇〇〇	成人	〇〇〇	
〇〇〇	〇〇〇	成人	〇〇〇	
〇〇〇	〇〇〇	成人	〇〇〇	

個別事業計画

□□□セミナー

- 趣旨: \_\_\_\_\_
- 主催: \_\_\_\_\_
- 対象: 成人
- 会場: 〇〇公民館
- 回数: 全5回(1回2時間)
- 展開

回次	日次	内容	講師	備考
1	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
3	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
4	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
5	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

各回の実施計画

「テーマ: 〇〇〇〇〇〇」

留意点

時刻 利用予定

導入 VTR

展開 説明

閉会 質疑

発表

教材

〇〇〇〇〇〇

利用者の

会場

## 年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

事業名	趣旨	対象	会場	備考
〇〇〇	〰〰〰	大人	〇〇〇	
〇〇〇	〰〰〰	大人	〇〇〇	〰〰
〇〇〇	〰〰〰	青年	〇〇〇	二
〇〇〇	〰〰〰	大人	〇〇〇	

1年間に行われる  
すべての学習機会  
や学習支援をまと  
めた実施計画

(例) 〇〇町家庭教育  
支援年間計画

## 個別事業計画(学習プログラム)

〇〇〇セミナー

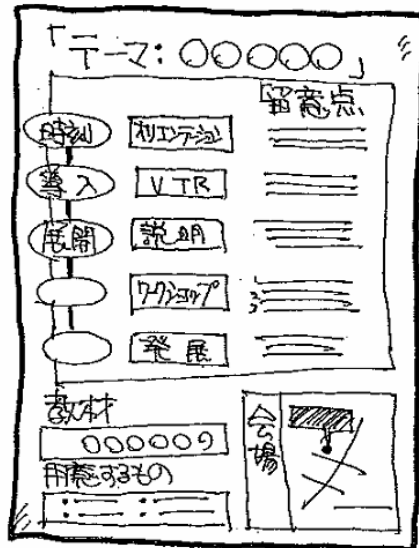
1. 趣旨: \_\_\_\_\_
2. 主催: \_\_\_\_\_
3. 対象: 成人
4. 会場: 〇〇公民館
5. 回数: 全5回(1回2時間)
6. 展開

回	内容	会場	講師
1	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
2	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
3	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
4	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇
5	〰〰〰	〇〇〇	〇〇〇

個々の事業ごとに  
つくられる運営計画

(例) 親の力をまなびあ  
うセミナー

## 各回の実施計画



各回ごとの詳細な活動内容や順序、流れが示されたもの

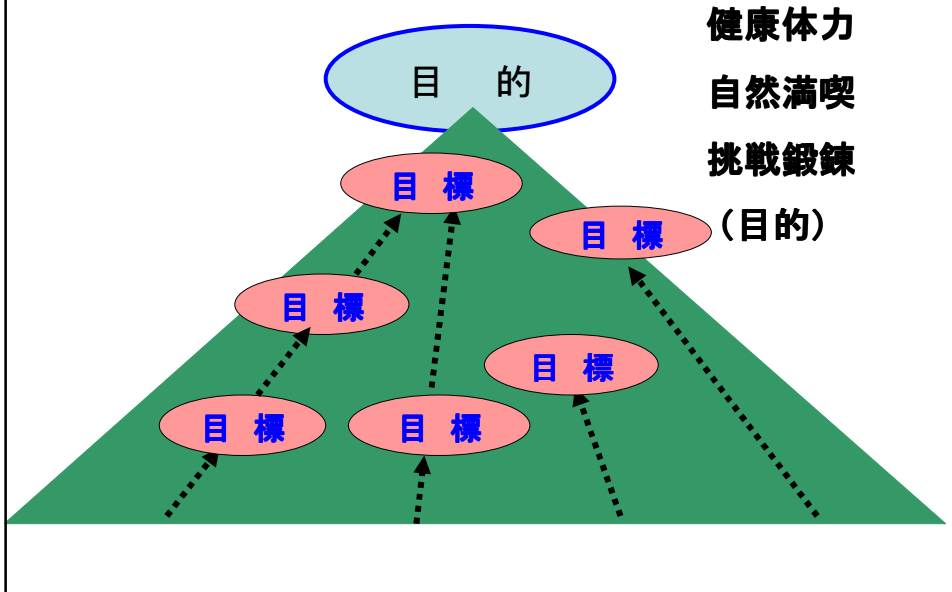
(例) 第1回セミナー実施計画

## 学習プログラムの構成要素

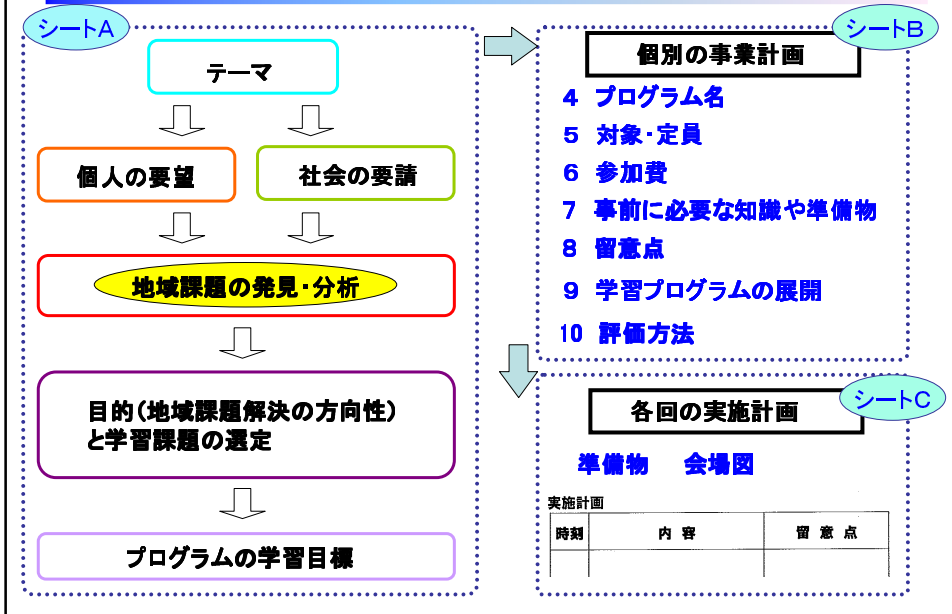
学級・講座、行事、集会等の集合学習の機会において、住民の学習を支援するための計画

- どのようなことを**目的**とし
- どのような**目標**をもって
- どのような**活動**を
- どのような**順序**で行い
- どのような**学習成果**を生み出すか  
(学習者の意識や態度、行動の変容をもたらすか)

## 目的と目標の関係



## 学習プログラム開発の進め方 (PLAN)



## 「個人の要望」と「社会の要請」

シートA

### 「個人の要望」

住民の学習ニーズ

#### 【調べる方法】

住民調査(アンケート),  
日常的な住民との交流

### 「社会の要請」

行政・振興区の重点課題・  
施策の方向, 地域の課題

#### 【調べる方法】

行政資料(総合計画,  
基本計画),  
広報資料, 統計資料,  
日常的な住民との交流

## 地域課題の発見と学習目標化

シートA

「個人の要望」  
と  
「社会の要請」



地域課題の発見  
・分析



地域課題の分類  
・優先性の判断

課題を  
解決する  
ための  
活動は...

目的(地域課題解  
決の方向性)と学  
習課題の選定



学習目標の  
設定・文章化



具体的な活動

## 目的(地域課題解決の方向性)と学習課題の選定

シートA

どのような課題を解決するためには、どのような状態になってほしいのか？

(例文)

子育てをしている親の育児不安を解消するために、子育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

×××(課題)を改善するために、△△(対象者)が○○○(意図)になる。

※「○○○になる」の部分は、理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる
- ・道徳心を養う
- ・仲間意識を育てる
- ・人材を育成する
- ・ネットワークを形成する
- ・地域の活性化を図る

## プログラムの学習目標

シートA

どのような活動によって、学習者がどのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値観を養ってもらいたいと考えているか？

- ①知らないことを知るようになるもの
- ②技能, 実技をとまなうもの
- ③意識を変えるもの

### 留意点

この目標を基に評価します。評価できるように分かりやすい言葉にしましょう。

## プログラムの学習目標 ①

---

### 知らないことを知るようになるもの →知識・理解・判断

(例文)

親同士の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることがわかる。

…を学ぶことによって、〇〇〇について判断できるようになる。

## プログラムの学習目標 ②

---

### 技能, 実技をともなうもの →技能・表現

(例文)

子どもと一緒に笑ったり, 喜んだりして遊ぶことにより, 今まで以上にお互いの気持ちを伝え合うことができるようになる。

…を体験することにより, 〇〇〇について表現できるようになる。



## プログラムの学習目標 ③

### 意識を変えるもの → 関心・意欲・態度

(例文)

親同士・親と子育て支援者との交流を通して、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感することができる。

…に参加することによって、〇〇〇への考え方(意識)が広がった・変わった。

## (例) 家庭教育支援をテーマとして…

### 個人の要望

子育てについて、気軽に相談できる場所がほしい。

### 社会の要請

子育て支援を行う地域のネットワークをつくりたい。

### 地域課題の発見・分析

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

### 目的(地域課題解決の方向性)と学習課題の選定

子育てをしている親の育児不安を解消するために、子育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

### プログラムの学習目標

- ◎親同士・親と子育て支援者の交流を通して、いろいろな子育ての方法を知り、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感する。
- ◎子どもと一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、これまで以上にお互いの気持ちを伝え合えるようになる。

## 学習プログラムを開発しよう(1)

シートB

### 1 地域課題の発見・分析

「個人の要望」と「社会の要請」の観点から地域課題の所在を把握する。

### 2 目的(地域課題解決の方向性)と学習課題の選定

地域課題に対して、どのような学習課題を選定することで、どのように地域課題を解決し、どのような状態にしたいのかを文章化する。

### 3 プログラムの学習目標

学習課題を学習目標として文章化する。

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②学習者に求める態度変容が目標として示されているか。
- ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。

## 学習プログラムを開発しよう(2)

シートB

### 4 プログラム名

魅力的で夢があるもの、学習目標が伝わるもの  
ユニークで、短く、人の心をキャッチするもの

### 5 対象・定員

目的や目標にあわせて絞り込む

### 6 参加費

施設使用料、食費、材料費、保険料、  
計〇〇〇円(申込時払い)など、  
内訳や集金日時をはっきりさせる。

## 学習プログラムを開発しよう(3)

シートB

### 7 事前に必要な知識や準備物

いざというときの医療機関の情報収集,  
しおりやアンケートの作成, 必要物品の手配等

### 8 留意点

安全面の配慮, プログラムを通しての配慮  
(子ども, 高齢者ならではの配慮も必要)

## 学習プログラムを開発しよう(4)

シートB

### 9 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の目標(◎)と学習内容・方法等	学習支援者	学習場所

第1回〇月〇日  
10:00~16:00

チラシに掲載する各回  
のテーマを内容がわか  
るように, 簡潔に書く。

講師,  
指導者,  
ボランティア

〇〇公民館  
〇〇研修室  
〇〇公園等

## 学習プログラムを開発しよう(5)

シートB

### 10 評価方法

「プログラム目標の達成度」「学習者にとっての成果」という2つの観点から考えよう。

○前者は、主催者が設定した目標に対して参加者は何を  
得たかという視点。

○後者は、参加者自身が何を  
得て、次のアクションをどのよ  
うに描いているかという視点。

## 各回の実施計画をつくろう(1)

シートC

### 1 学習テーマと学習目標

シートBの「9 学習プログラムの計画」に記載した  
学習テーマと各回の学習目標を記入します。

### 2 回・日時・場所

第○回

○月○日 10:00~11:30

多目的教室等

### 3 講師、指導者、支援者等

シートBの「9 学習プログラムの計画」の学習支援者に記載  
した講師、指導者、支援者等

## 各回の実施計画をつくろう(2)

シートC

### 4 準備物

参加者が準備するもの、主催者が準備するものを区別して示す。

### 5 会場図(机, いす等の配置)

会場の上から見た図の記載する。

準備物(例: プロジェクター, パソコン, スクリーン, マイク, CDデッキ等)の設置場所を示しておく。

## 各回の実施計画をつくろう(3)

シートC

### 6 実施計画

時刻	内容	留意点
9:30	受付 ・受付を済ませ, 子ども(3~6才児)を託児コーナーへ預ける。	・案内板, 長机(1), 受付名簿 ・受付 職員(1)
10:00	オリエンテーション ・班編成と自己紹介(アイスブレイク等)を行う。	・託児ボランティア(6) ・司会 職員(1)
10:10	講義「子どもの遊びについて」 ・「遊びについて」等の講義をしていただく。	☆適宜, 水分補給などの休憩を入れる。

## 参考資料

- ①平成22・23年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修初級研修資料  
(広島修道大学教授 山川肖美・広島経済大学准教授 志々田まなみ)
- ②廣瀬隆人・澤田実・林義樹・小野美津子 共著  
「生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方」  
ぎょうせい 2000年
- ③広島県立生涯学習センターホームページ  
「職員研修用資料・生涯学習振興・社会教育関係職員の基礎知識『学習プログラム開発の実際』」

ばれっとひろしま

検索

← クリック！